

## 会 議 録 ( 要 旨 )

会議の名称	第2回戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会
開催日時	令和6年11月26日(火) 午前9時30分～午前11時00分
開催場所	戸田市役所 7階 第5委員会室
出席者氏名	<p>学識経験者(日本薬科大学特任教授兼埼玉県スポーツ協会専務理事)久保 正美</p> <p>学識経験者(拓殖大学教授)松橋 崇史</p> <p>学識経験者(平成国際大学専任講師)秋本 成晴(オンライン参加)</p> <p>戸田市スポーツ協会 萩原 哲夫</p> <p>戸田市スポーツ少年団 須田 真司</p> <p>戸田市レクリエーション協会 山崎 雅俊(代理出席)</p> <p>戸田市スポーツ推進委員連絡協議会 平野 秀明</p> <p>公益財団法人戸田市文化スポーツ財団 赤坂 直樹</p> <p>戸田市小学校体育連盟 武藤 昌博</p> <p>戸田市中学校体育連盟 益田 光行</p> <p>戸田市 副市長 豊島 浩明</p> <p>戸田市企画財政部長 吉野 博司</p> <p>戸田市市民生活部長 五條 宏</p> <p>戸田市環境経済部長 香林 勉</p> <p>戸田市健康福祉部長 櫻井 聡</p> <p>戸田市都市整備部長 早川 昌彦</p>
事務局	(文化スポーツ課)戸田市スポーツセンター再整備プロジェクトチーム、パシフィックコンサルタンツ株式会社
議 題	<p>(1) ニーズ調査の結果について</p> <p>(2) 新たなスポーツセンターに求められる役割</p> <p>(3) 事例視察先について</p>
会議結果	<p>基本構想のコンセプトや基本方針(案)の検討にあたり、本会議で議論した内容を考慮しながら、求められる役割等について引き続き分析、検討することとした。</p> <p>また、事例視察先について、本会議で議論した内容を踏まえつつ、候補施設と日程調整等を行い、委員長に諮ったうえで最終決定することとした。</p>
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和6年12月6日 委員長 久保 正美

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会
委員長	議題(1) ニーズ調査の結果について説明をお願いしたい。
事務局	議題(1) ニーズ調査の結果について説明。
委員長	議題(1) ニーズ調査の結果のご意見は議題(2)の意見と一緒に伺う。 議題(2) 新たなスポーツセンターに求められる役割について説明をお願いしたい。
事務局	議題(2) 新たなスポーツセンターに求められる役割について 今後、基本構想のコンセプトや基本方針(案)を作成するにあたり、ニーズ調査の結果を踏まえて検討すべき新たなスポーツセンターに求められる役割を、分析内容の中間報告として説明。
委員長	今後、基本構想のコンセプトや基本方針(案)において、アンケート結果以外の要素、現施設の利用実績や、スポーツ環境に関する社会的な動向も考慮して、素案をまとめていく。今回のアンケートには反映されていない要素についても様々な意見があるかと思うが、主に各種アンケートの集計結果を踏まえた内容について、まず、意見をいただきたい。
委員	私の専門で障がい者スポーツについて、課題と思われるところがあった。市民アンケートの1ページで、今回の対象者が18歳以上の2,400名で回収率も31.5%だが、厚労省の調査では、障がいのある方が全体の1割程度いることとなっている。そのため、本来であれば対象者のうち、240人ぐらい障がいのある方がいてもおかしくないかと思うが、実際の回答者数が18人ということで、障がいのある方の声が集まりにくくなっているのではないかと思う。今後、施設を改修し、新しくしたときに、障がいのある方に向けてのメッセージについて、市の障害福祉課と連携するなどして情報発信の方法などは何か考えた方が良かった。 1
事務局	アンケート調査の中で、障がいのある方からの声が集まりにくいという状況はあったかと思う。障害福祉課と連携をとり、特に市内で障がい者スポーツを主体的に行っている団体や関係団体に対して別途ヒアリング等を実施している。今回の資料の中にはその内容は反映していないが、今後計画を作成する際には、それらの結果も踏まえながらまとめていければと思っている。
委員	アンケート結果をみると、身近で比較的手軽に触れられるようなスポーツのニーズが高いと感じているが、このスポーツセンターにどのような役割を持たせたいのか。観るスポーツとして整備するのか、それとも、市民がそこで実際にスポーツをすることを目標に役割を持たせるのか、今後詰めていかなければいけないのではないかと。
事務局	アンケートの結果を踏まえてどういった市民の意向があるのかを精査することと、ま

	た、現在の利用状況というものがやはりベースになると考えている。現在の利用から大きく変えるとなると、新たな施設整備に関する課題もでてくると考える。今の施設をベースにするという前提であれば、建設当時から変わっている、不足している役割をどう補足していくのかという視点を加えて、整備を進めていけばと思っている。
委員長	今後やってみたいスポーツとして、意外にバドミントンや卓球など、手軽にできるスポーツをやりたいということがアンケートの結果から見えているかと思う。
委員	アンケートからは、まさに今、実際にどのようにスポーツに親しんでいるか、市民の現状を知ることができた。現状もちろん大事だが、市として、スポーツセンターを使って市民の方にどうなってもらいたいのか、例えば、より健康になってもらいたいか、現在は一人での利用が多いが、周りの人とつながった形でスポーツができるようなコミュニティの活性化など、新しい楽しみ方も意識していけると良い。市として求めるスポーツセンターの役割を意識しながら検討が進んでいくと良いと考える。委員の方々にも意見・感想を伺いたい。
委員長	委員の方々、戸田市としてどのように考えていくべきか、考えを伺いたい。
委員	アンケート結果に関しては、実態を反映していると感じた。また、各地区の特徴などもわかった。サークル活動など目的がある人は、ある程度アクセスが悪くても利用しているが、スポーツ振興を考えると、不足している人、特に働き盛りで家庭と仕事があって運動不足の人などにどう利用してもらうかが重要と考える。今後やってみたいスポーツに関して、スポーツ用品業界の方の話では、バドミントンや卓球などのスポーツ用品の売上げが上がっており、個人スポーツの人気が高いのが近年のトレンドとのことで、アンケート結果はこれと一致する。また、スポーツだけはでない部分が重要になっており、単純にスポーツをやるだけではない施設が注目されている。大規模なスポーツ施設が北海道や長崎県で建設されたが、スポーツを核に多目的なコンテンツの導入・地域の活性化を行っている。戸田市としてどうしたいか、アンケートを分析していくことでスポーツ振興に向けての内容を拡充はできるが、それ以外の部分をどうしていくべきか議論が必要であると考え。
委員	法的な部分の検討も必要になるかもしれないが、整骨院やケア施設などがあるとスポーツによるケガへの対応や、高齢者が立ち寄りやすくなるのではないかと。その他、託児所が併設されると、来て安心して預けられてスポーツができる場所として、中間層の方にさらに利用していただけるのではないかと。と思う。
委員長	熊谷市の「さくらオーバルフォート」は、埼玉パナソニックワイルドナイツの本拠地としてラグビー練習場が整備されている。県の都市公園内にあるため、公園内に病院は設置できなかったが、選手からの要望により、公園周辺にクリニックを整備した事例がある。

事務局	日産スタジアムには、横浜市スポーツ医科学センター内にクリニックが併設されていたり、カシマサッカースタジアムはトレーナーがいて高齢者の介護予防に力を入れているなど、施設の位置づけによっては対応可能な場合がある。ケア施設などは検討できる可能性があるのではないかと。
委員長	そのあたりについては今後考えていってほしい。
委員	スポーツ・レクリエーションの意向調査と、スポーツセンターのニーズアンケートの結果を分けて考えるべきではないか。戸田市では、トップレベルでないものに関しては、学校開放や民間施設などを利用していることも多い。約半数はスポーツセンターを利用せず、他の施設を利用している。スポーツセンターで行うスポーツだけでなく、市全体で充実させていく必要がある。スポーツセンターを、スポーツを楽しむことだけに特化させると、遠い人が逆にスポーツをしづらくなる恐れもある。
委員長	するスポーツだけでなく、様々な方法でのスポーツ参画を活かしたまちづくりとして、各地区でもスポーツができるような雰囲気づくりをスポーツセンターが核となって行っていくと、施設の価値もより高まるのではないかと。自動販売機コーナーの利用が多いことが意外であり、特徴的であるが、一方で、他自治体の施設ではレストランを整備したが、採算がとれずやめてしまう事例も多い。スポーツを行う上で、飲食は必要になるかと思うが、その他、外からの利用や、子どもの送り迎えなどでの利用なども含めて検討を行っていく必要があるかと思う。
委員	屋内プールやトレーニングルームの利用が多いのは、市内に他にないからである。それも数値に表れているかと思う。公共という部分で地域性も考えながら、スポーツセンターを中心に、地域ごとにサテライト的にやっていくという考え方ができる良いと思う。
委員	今後もスポーツをやっていきたいか、という設問で、本格的に競技力を高めていきたいという子どもが小学生で2割、中学生で3割いる。スポーツセンターが様々な種目の競技力を向上させられるような施設になっていけると良いと思った。体操だけでなく幅広い競技で市民の健康増進とあわせて行えるような施設になってほしいと思う。
委員	総合型地域スポーツクラブのコンセプトは、身体健康管理・メンタル含めて、身体を少し動かすことから、トップ・プロへのチャレンジまで、ピラミッド型でそれぞれ、楽しむスポーツと挑戦するスポーツに分けている。愛知県半田市の成岩スポーツクラブなどが先進的に取り組んできた例である。今後、スポーツセンターにも期待したい。
委員長	戸田市内で総合型地域スポーツセンターはいくつあるか。
事務局	現在3つある。
委員長	多種目、多世代、多志向で25年ほど前から推奨されているが、選手へのあこがれ、競技力向上として大事なことである。
委員	小学校・中学校ともに授業や部活動を通して、生涯スポーツ実践者の育成に日々尽力し

	ている。中学校の部活動の地域移行について、教員の働き方改革の面が大きく取り上げられているが、子ども達が地域の中で育ち、今度は指導者として子ども達を育てるといいう地域でのサイクルをつくることを目的にしている。構想策定においても、視野に入れていただければと思う。
事務局	市でも別委員会で地域移行について検討しているため、そちらも含めた検討を考えている。
委員	今後のスポーツニーズとしてウォーキングなどがあげられ、個人でできるものが好まれている傾向にあるが、コミュニティの醸成なども必要ではないか。個人スポーツも考えつつ、スポーツによるコミュニティの醸成についても考慮していただきたいと思う。
事務局	議題(3)事例視察先について 事例視察先について説明
委員長	視察先が1日3か所はきついかもしいない。2か所くらいかと思う。視察先や、委員の都合もあるため、行くべき施設を決めていきたい。
委員	八王子エスフォルタアリーナは立地や大きさ、日常スポーツというより大会や試合向けと思われることから、今回のスポーツセンターの考え方と少し離れているかもしれない。スポーツ以外の利用を見ることでいえば、中野区や流山市の施設などかと思う。千葉市の災害対策も重要かと思うが、日常的な施設と地域との関係性をしっかり見た方がよいと思う。
委員長	ご意見を参考に、事務局でまた検討を行う。
委員	認識を共通させたいこととして、再整備にあたって、将来都市公園であれば、都市公園法の制限が入るため、建物の面積割合が制限を受ける。尚且つ、学校や病院は入れられない。入れたいのであれば、今のこのスポーツセンターの建物が建っている場所であれば入れることは可能である。事務局で再度整理・説明してもらえれば思う。 2
事務局	街区内の面積割合は変えられないが、配置によって都市公園の位置は変えられる可能性があると考えている。現在建物がある場所とは別地点に新施設を建てるという方法も検討していきたいと思う。
委員	公園の面積を変えることはできないが、建物の形状によって公園敷地の形状を変えることは可能である。
委員長	次回までに事務局で制約等を整理していただきたい。
事務局	その他・連絡事項 第3回委員会は、事例視察を予定している。候補施設と日程調整を行い、最終的な視察行程を委員長にお諮りのうえ、年内には決定する予定である。近日中に候補日のご都合について御連絡するので、返信をお願いしたい。また、全員が参加できない日程となってしまう場合があるが、その旨はご理解いただきたい。

事務局	閉会
-----	----

1 厚生労働省が実施した「令和4年生活のしづらさなどに関する調査」によれば、日本全体の障害者の総数は1164.6万人で人口の9.3%に相当する。また、戸田市の障害者数(手帳所持者数)は4,829人(令和5年度)で、全体の回答率と同様の想定回答数は20~30件程度であり、実回答数は期待値を下回っている。

2 現在のスポーツセンター所在地は、新曽第一区画整理事業により、敷地の一部が都市公園予定地となっている。この都市公園予定地は都市公園法の各種制限を受けるため、建蔽率や施設の種類などについては関係法令に基づく検討を行う必要がある。